

2019年(令和元年)5月14日

あなたの身近な経済の専門家

おのづか勝俊通信 Newspaper

(討議資料)



発行・編集

まさとし
おのづか勝俊事務所

〒359-1111 埼玉県 所沢市 緑町 4-32-15

TEL: 04-2997-8878 FAX: 04-2925-0102

ホームページ: onozuka.jp メール: office@onozuka.jp

大変に残念ながら、所沢で様々なことが後退しています。

ハーバード大学アジア分校を設立する話が、米軍横田基地から大量の汚れた土砂に……。

私が衆議院議員の時、米軍所沢通信基地を全面返還して、ハーバード大学のアジア分校を作る話を進めていました。しかし、私・小野塚が衆議院議員を落選してしまったため、ハーバード大学ではなく、現在、米軍所沢通信基地には、毎日120台の大型ダンプカーにより、1年間にわたり、米軍横田基地から汚れた土砂が大量にもちこまれています。更に所沢には、オスプレイや軍用ヘリコプターも飛来するようになっています！

一方で、私が衆議院議員として、米軍と7年前に決めた東西連絡道路の建設は未だ開通せず留め置かれています。あまりにも時間がかかりすぎです。

この停滞・後退している現状を、私・小野塚に変えさせて下さい。



防衛医大病院を日本一の病院にする改革が止まっています。



私が衆議院議員の時、防衛医大改革の一貫で、防衛医大に看護学科を創設しました(看護師体制の充実)。

しかしその後、改革はストップし、防衛医大病院を日本一の病院にするどころか、医師や看護師の方々が日々大変なご苦勞を重ねています。

防衛医大病院は、所沢市や埼玉県西部地区にとって、大変重要な第三次救急医療も担っています。このまま見過ごすわけには参りません。

因みに、私の大学院での研究テーマ(修士論文)は、防衛医大改革です。

私・小野塚には、具体的な政策がございます。

所沢から、西武グループの本社も、日本大学芸術学部もなくなってしまいました。

このことは、経済においても、文化芸術においても、また所沢のイメージとしても大きな損失です。今の政治や行政が後手後手になっています。

残念でなりません。私・小野塚に変えさせて下さい。

多摩モノレールは、東京都東大和市の上北台駅(多摩湖のすぐ手前)で止まり、地下鉄大江戸線は東京都練馬区の光が丘駅で止まっています。

2つの鉄道を所沢へ。所沢の可能性は大きく拡大します。

私・小野塚を働かせて下さい。



東京近郊の街で人口が横ばい・減少しているのは所沢市だけです。



埼玉県全体も、さいたま市、川口市、川越市、越谷市は人口が増加しているのに、かつて埼玉県で3番目に人口の多かった所沢市のみ人口が減少しています。

(現在は川越市、越谷市に抜かれて5番目に)

10年前に比べ、所沢の価値は大きく下がっています。

所沢が中心となってイニシアティブをとり、東京都や東京の近隣市、狭山市、

入間市などを引き込んで、所沢市に勢いを取り戻すことを私・小野塚にさせて下さい

私が衆議院議員の時、秩父学園を「知的障害児施設」から「福祉型障害児入所施設」に大改革しました。しかし、その後の必要な改革が止まっています。

国立障害者リハビリテーションセンターや秩父学園の改革も止まっています。所沢は、「国立障害者リハビリテーションセンター」や「秩父学園」のある街として、かつて世界的にも有名でしたが、残念ながらその高名がだんだんと薄らいています。障がいをお持ちの方に優しい街は、子どもや高齢の方々にも優しい街になります。

私・小野塚にそのような街にするべく働かせて下さい。





始発から終電まで20時間

「政策キャンペーン駅頭活動」連休中実施しました
第1弾は「平成最後の日」4月30日から5月1日 所沢駅東・西口
第2弾は「こどもの日」5月5日から5月6日 新所沢駅東・西口



格差是正が経済成長につながります。

以前から、**おのづか勝俊**が申し上げています通り、「アベノミクス」では、ごく一部の大企業やお金持ちはそれなりに潤っても、多くの国民の皆さまにとってはむしろ生活は厳しくなり、事実「アベノミクス」前の状況より、現在は経済の成長率は縮小、実質賃金も減少しています。



長年、日本経済に潜在し続ける問題を解決するには、まずは「**格差是正**」が必要です。

格差是正は、将来への投資を意味し、**経済の好循環**を生み出します。

若年層、子育て世代、高齢者など全ての年代の方々に大きく広がってしまった**格差を政策で是正**していき、社会保障制度や税制を変えていくことが今の日本に急務です。

格差是正や教育などの人材投資が経済成長に繋がることは今や世界の常識となっています。現政権は金融緩和や財政出動で目先のカネをばらまくことばかり熱心に取り組みますが、人材育成に投資する視点が欠落しています。人口減少が進む中、人材育成を中心とする「人への投資」を「国家百年の計」と位置づけ国の責任で行っていく必要があります。それが足元の消費を拡大しさらに人口減少に歯止めをかけ、すべてのひとがのびのびと活躍出来る社会（共生社会）を実現することで一人ひとりが最大限の能力を発揮し、希望と元気に満ちたわが国の将来へと繋がっていきます。AI（人工知能）やIoT（モノがインターネットにつながる）などの急速な進展を考え合わせれば、「**人への投資**」の**拡大・強化**は今すぐに取り組むべき課題です。

さらに、グローバル経済への対応、ローカル経済システムの再構築という二つの価値観に基づく経済政策を両輪とすることで「人が中心」の経済構造へ転換し、特に地域では人口減少に歯止めを掛けることに繋がります。

■小野塚勝俊 おのづか まさとしプロフィール■

- 1972年(昭和47年)5月5日(こどもの日)生まれ、親子4人で所沢市に在住。所沢市立上新井小学校PTA前会長 所沢中央文化幼稚園父母の会前会長
- 立教高・大学卒業、早稲田大学大学院（修士号取得）、東京大学EMP修了
- 日本銀行12年間勤務（政策委員会室、国際局 他） □ トトロのふるさと基金の設立当初からのメンバー・元理事
- 政策学校一新塾にて大前賞受賞 □ 元衆議院議員（財務金融委員会理事、予算委員 他） □ 現在、SBI大学院大学の教員として、『ブロックチェーン時代の金融』という講義を受け持つ。
- 3歳から水泳を始め、中学・高校・大学と体育会水泳部。中学、大学で主将、合宿所の寮長を務める（高校時代、埼玉県大会でバタフライ3位）

★ 浪人中です。是非、お話をお聞かせ下さい。徹底して地元を歩いて政策を訴えています。



子どもや孫たちに、平和で豊かな日本、世界を残して行きましょう!

元衆議院議員 小野塚勝俊の活動にご協力いただける方を

大募集

しています。ご連絡をお待ち申し上げます。